

(道徳)

「互いを認め合い、よりよい人間関係をめざそうとする集団を育成する」

～道徳の指導法の工夫を通して～

大阪市立豊崎小学校 学力向上部

## 1. 研究主題設定の理由

本校では、「豊かな心をもち、仲間と協働して探究する子どもを育てる」を学校経営の重点とし、「確かな学力の定着」「豊かな心の育成」「すこやかな体力の育成」をめざして日々教育実践に取り組んでいる。

豊崎の児童は地域に温かく見守られ明るく素直に育っているが、受け身的なところがあり、自分の考えをもってどんどん意欲的に進めたり自分の考えを発表したりすることが苦手な児童も少なくない。また、友だちとの違いを認められず心ない言葉をつかってしまったり、相手の気持ちを考えられることができなかったりする場面がみられることや、仲間作りの意識が弱いことも課題として挙げられた。そして、各教科・教育活動全体において、互いのよさを認め合い立場や考えを尊重していけるような取り組みを進めるとともに、道徳の授業の充実を図る必要があると考えた。そこで、平成28年度より研究主題を、「互いを認め合い、よりよい人間関係をめざそうとする集団を育成する～道徳の指導法の工夫を通して～」と設定し、道徳の時間を要に教育活動の工夫を図れるよう研究を進め、今年度も引き続き、道徳の指導法の研究をさらに深めることとした。

## 2. 研究の趣旨

本年度の児童の実態から

- ① 一人一人本来もつやさしさは行動にも表れてはいるが、相手を思いやったり状況をみて考えて行動したりできていない。考えに深まりがないので、人の考えに流されて行動してしまうこともある。
- ② 道徳の授業では一人一人考えているのに、その学びが生活と結びついていない。
- ③ 自分の考えをもち、それをもとに話し合う力が弱い。

といったことがあげられた。そこで、研究主題を昨年度と同様に設定し、道徳の時間の一層の充実を主軸に研究を進めていくこととした。道徳の授業においては、資料を基に、児童が当たり前に思っていたことに対して立ち止まって考えさせる、一人一人の感じ方・考え方を大切にして話し合うことにより道徳的価値に気づかせる、それにより、学んだことを自分のこととして考え、これからの生活の中で判断し実践することのできる児童に育てたいと考えた。

## 3. 研究の概要

研究主題にせまるため、3つの視点を以下のように設定した。

### (1) 道徳の授業における指導過程の工夫

○資料をもとにした、発達段階や児童の実態にあったねらいを設定する。

ねらいとする価値を精査し資料から1時間でせまることのできる具体的なねらいを設定する。

○ねらいにせまるための発問や指導法の工夫をする。

#### 〈導入〉

学習の始まりを児童にとって身近なものとし、興味関心をもって資料の世界に入ることができるようにする。

#### 〈発問の工夫〉

ねらいにせまるための中心発問を登場する中心人物の葛藤・変容・対比に着目しながら設定し、そこに至るまでの発問を精選する。発問から予想される児童の反応から、適切な補助発問を準備する。

#### 〈学習の形態の工夫〉

ペア・グループトークを取り入れ、自分の考えを確かめたり、新しい考えに気づいたりできるようにする。ペアやグループトークで、多様な考えを引き出し、学級全体の話し合いにより、ねらいにせまることができるようにする。

#### 〈1時間のまとめ・振り返り〉

学習を振り返るためのワークシートを用意し、自分のことも振り返りながらその時間の学びで気づいたことを書くようにする。個々の振り返りを学級全体に返す工夫をする。

#### (2) 日々の生活における自己の振り返りの設定

- 「ふりかえりの日」を毎月設定し、道徳の授業や学校生活全般で学んだことが日々の生活に生かされているか「ふりかえりカード」を活用して継続的に振り返ることにより、道徳的な実践意欲と態度を育てる。

#### (3) 望ましい集団作り

- 互いの考えを大切にし何でも言い合い高め合える学級づくりをするため工夫を図る。
- 友だちの良さを認め合う場の設定の工夫をする。(各教科・終わりの会)

### 4. 研究の成果と今後の課題

#### (1) 研究の成果

- 道徳の授業における効果的な指導法について研究を深め、児童一人一人に道徳的価値に気づかせる授業を展開することができた。
- 「ふりかえりの日」を毎月設定することで自分を見つめなおすよい時間となり、自分のがんばりや課題について気づくことができた。また、それを自分の生活に生かしていける児童も増えてきた。
- 各教科、学級活動、帰りの会等教育活動全般において、互いのよさや成長を認める場を設定し、互いのよさに気づくことができるようになってきた。それにより、互いの信頼関係が育ち、よい学級にしていこうとする意欲も高まってきた。

#### (2) 今後の課題

- 道徳の授業における効果的な指導過程や評価のあり方についてさらに研究を深める。
- 「ふりかえりの日」に自分のことを適切に評価できるよう育てていくとともに、振り返ることでこれからも自分の成長を認めたり、自分の課題を見つけたりできるようにし、さらには道徳的判断力や実践する意欲・態度の育成へとつなげていく。
- 互いを大切にし、言いたいことを伝え合い高め合える集団を今後も目指していく。